

タイトル

正しく恐れて活動継続～介護予防と地域とのつながり～

活動紹介

矢向・江ヶ崎・尻手の歴史資料交流室を運営する NPO 法人「史季の郷」では、緊急事態宣言の明けた 6 月から会館開放を再開、7 月から介護予防「つながりクラブ」の活動を再開しています。どちらも、感染症予防対策を入念に行っている再開です。

マスクの着用、換気、検温、消毒の実施、来館者名簿の作成、飲食の禁止、人数制限の実施。隣接する新鶴見公園で遊ぶ子どもたちのおもちゃの貸し出しを禁止する等、心苦しいところもありましたが、新型コロナウイルスについて正しく恐れ、感染症予防対策をしっかり行う事で、活動継続を行うことができています。

会館が開いていることで、地域の高齢者の方々の居場所となり、お散歩中の園児達や公園で遊ぶ家族、小学校の生徒達との交流の場となっています。

また、介護予防と健康寿命の伸長を目的とした「つながりクラブ」でも、手芸、脳トレ、回想法などの活動を月 1 回のペースで行っております。少人数でも活動を続け、感染症拡大の憂いが無くなった時には、より広く活動を周知して、参加者を募れるように活動の継続を行っています。

団体名

NPO 法人 史季の郷（矢向・江ヶ崎地区）



マスクを着用し、距離を取って回想法を実施。

